

製品・サービス動向-国内

■MAYA ビジネスソリューションズ：次世代型ミーティングパネル「MAXHUB」の最新モデル「V6 Tシリーズ」（65インチ/86インチ）を販売開始

(PRTIMES: 8月23日)

株式会社 MAYA ビジネスソリューションズ (<https://mayabs.co.jp/>) (東京都新宿区) は、8月23日、次世代型ミーティングパネル「MAXHUB」の最新モデル「V6 Tシリーズ」（65インチ/86インチ） (<https://maxhub.mayass.com/product/v6-t/>) を販売開始する。



V6 Tシリーズ

(写真提供：MAYA ビジネスソリューションズ)

MAXHUB は、高解像度カメラ、高收音アレイマイク、高性能スピーカーおよびホワイトボード機能を搭載し、WEB 会議、社内 MTG、プレゼンテーションなど、さまざまなビジネスシーンにおいて、MAXHUB 一台でこれらの機能をシームレスに実現し会議の質を向上させるという。

最新モデルの特徴は以下の通り。

(1) ディスプレイ：アンチグレア液晶で極細ベゼルを採用している。MAXHUB 史上最大のアクティブエリア率 95%を達成している。(86 インチ) また、静電

容量タッチパネルによる高精細な書き込みを実現している。縦型、横型レイアウトの会議室でも参加者全てを効果的に捉えることが可能。

(2) カメラ：PinP 対応 広角 92° デュアルカメラを搭載し、光学 3 倍ズームに対応。フリップオーバー、手動ズーム、参加人数に合わせた自動フレーミング、話者をズームする声認識などに対応している。



カメラ外観

(写真提供：MAYA ビジネスソリューションズ)

(3) ワイヤレス接続：4K 出力が可能 (UHD)、スムーズ画面投影 (接続時間 5 秒)、Miracast/Chromecast などに対応。Type-C 接続の場合、アプリインストールが不要となっている。豊富なコネクティビティオプションにより、異なるデバイスを簡単に接続し、情報共有を円滑化する。



ワイヤレスドングル

(写真提供：MAYA ビジネスソリューションズ)

(4) OS と性能：Windows IoT Enterprise LTSC 2021 を搭載し、第 9 世代インテルコア i5 プロセッサ、DDR4 16GB メモリ、M.2 SSD 256GB ストレージを備え、より高い性能と安定性を実現している。

MAYA ビジネスソリューションズによると、この新たなモデルでは、リアルタイムのコラボレーションも強化されており、遠隔地にいるチームメンバーとの効果的な意思決定やアイデアの共有が容易に行えるという。また、シンプルで洗練されたデザインは、どんなオフィス環境にも調和し、プロフェッショナルな印象を与えること間違いなしという。

■ RSUPPORT : Web 会議「RemoteMeeting」、1 ライセンスから利用可能に、100 ライセンス以上のリーズナブルな価格プラン「法人パック」も新設

(PRTIMES:8月18日)

RSUPPORT 株式会社

(<https://www.rsupport.com/ja-jp/>) (東京都港区)

が提供する Web 会議ツール「RemoteMeeting」は、8月18日より既存「ユーザ課金」の最低購入ライセンス数を変更するとともに、100ライセンス以上の利用検討でお得に契約可能な「法人パック」を新設すると発表。



Remote Meeting (写真提供：RSUPPORT)

Remote Meeting では、ビジネスコミュニケーションツールとして定着した Web 会議ツールをより気軽

に導入し、利用してもらえるように 8月18日よりユーザ課金の最低購入ライセンス（ライセンスは会議を開催するために必須）を 5 から 1 へ変更する。また、100ライセンス以上の大型顧客向けにユーザ課金をまとめてお得に契約できるボリューム割引プラン「法人パック」を新設した。

今回のプラン改定・新設により、1ライセンスからサービスを試すことができ、より多くの企業が Web 会議システムをリーズナブルに利用することができるようになるという。

RSUPPORT の RemoteMeeting は、ひと月 990 円のリーズナブルな価格で、プログラムのインストールやアップデート無く Web ブラウザで気軽にコミュニケーションができる Web 会議サービス。Web 会議初心者でも簡単に使える分かりやすい UI・UX を提供し、社内の Web 会議状況が可視化できるラウンジ機能や AI 議事録や録画などの便利な機能と、オンライン上でも社内コミュニケーションをより活性化することができる機能を取り揃えている。

RSUPPORT は、今後も多くの企業が気軽に便利に使えるビジネスツールを開発・提供し、ビジネスを遠隔でサポート・生産性の向上を目指す。

■ 木村情報技術：「Zoom Events/ Zoom Sessions」日本語版を活用したイベント代行業務を開始、主催者の負担を大幅に軽減

(PRTIMES：8月18日)

木村情報技術株式会社 (<https://www.k-idea.jp/>)

(佐賀県佐賀市) は、「Zoom Events/ Zoom Sessions」日本語版を活用したイベント代行業務を 8月21日から開始する。主催者の負担を大幅に軽減することが可能となる。

木村情報技術は、主に、人工知能 (AI) 活用事業および人工知能サービスの研究・開発、Web 講演会運営・配信サービス「3eLive」を手掛けているほか、各

種プラットフォーム事業、メタバース事業、e スポーツ事業なども展開している。

2005年に設立以来、Web講演会のスペシャリストとしてサービスを提供してきた。現在は製薬企業を中心に約120社の企業様からWeb講演会の依頼を受け、これまで約15,000回もの配信を実施してきた。医療分野におけるWeb講演会運用・配信サービスの売上シェア No.1（※富士経済調べ）を達成している。

同社ではこれまでお客様のニーズに対応し、様々なオンラインイベントを提供してきた。Zoom EventsやZoom Webinarのイベント代行も行っている中、2023年6月19日にZVC Japan株式会社より発表されたZoom Events/Zoom Sessions 日本語版により、これまでのZoom Events/Zoom Sessions よりもさらにお客様の選択肢を広げ多様なイベントが実施できると確信し、今回のイベント代行業務を開始することにした。

■ Notta：AI 文字起こしサービス「Notta（ノッタ）」と「Webex Meetings」の連携を開始

（PRTIMES:8月29日）

Notta 株式会社（<https://www.notta.ai/>）（東京都渋谷区）は、AI 文字起こしサービス「Notta（ノッタ）」と「Webex Meetings」の連携を開始した。

Notta は、Webex Meetings 内での会話から、AI が必要な情報を録音・文字起こしし、それを要約する機能を提供する。

Notta は、日本語・英語をはじめとした104言語に対応する、AI による音声自動テキスト化サービス。言語に合わせて最適な AI 音声認識エンジンを用いて、スピーディかつ高精度の文字起こしを実現する。PC、スマートフォン、タブレットなどさまざまなデバイスから利用可能でとても手軽に使える。また、全ての

データは暗号化され、セキュリティ保護されているため、社外秘の課題が含まれる会議も、安心して利用できるという。



Notta x Webex 連携（写真提供：Notta）

オンライン会議のテキスト変換において、「Zoom」「Microsoft Teams」「Google Meet」という3つの会議サービスに対応してきたが、多くのユーザーのニーズに応えるため、この度、Webex のテキスト変換にも対応することになった。

同社は、2020年の創業以来、「会話から無限大の価値を発見」をビジョンに掲げ、文字起こしサービスで事業展開をしており、現在は日本および海外でグループ「Mind Cruiser Limited」「NOTTA INC.」を中心に展開している。

■ ビジネス動向-国内

■ ヤマハ：遠隔会議向けビデオコラボレーションシステム「CS-500」が Microsoft Teams」の認定を取得

（8月29日）

ヤマハ株式会社（<https://sound-solution.yamaha.com/>）（静岡県浜松市）は、同社が提供するビデオコラボレーションシステム「CS-500」がマイクロソフト社の提供するコラボレーションプラットフォーム「Microsoft Teams」の認定を取得したと発表。

CS-500 は、ヤマハ独自の音声解析技術とカメラの映像解析技術に AI 技術を掛け合わせ、使用される会

議スペースと会議参加者を自動認識した上で、新開発の「Hexa-Microphone」が会議参加者の声を見つけて收音し、認識した映像と音声を周囲の環境に合わせて自動補正することで、安定的かつ高品質な通話体験を提供する。



ビデオコラボレーションシステム「CS-500」
(写真提供：ヤマハ)

マイクとカメラ、映像・音声出力（HDMI）を内蔵しつつ、スピーカーは外部のディスプレイなどに搭載されたものを利用するため軽量・小型化を実現している。会議参加者のPCとの接続はUSBケーブル1本で完結し接続されたディスプレイの画面にユーザーガイドも表示されるため、初めてのユーザも簡単に使うことができるという。

※関連記事：定期レポート（2023年6月15日号）
CS-800、Microsoft Teams 認証取得。

導入利用動向-国内

■ZVC Japan: 井村屋グループ、「Zoom Meetings」や「Zoom Phone」、「Zoom Team Chat」などZoomソリューションの導入でコミュニケーション統合を実現、UCaaS活用への取組みに注力

(PRTIMES：8月21日)

ZVC Japan株式会社 (<https://zoom.us/>)（東京都渋谷区）は、井村屋グループ株式会社 (<https://www.imuraya-group.com/>)（三重県津市）

が、Zoomソリューションの導入で社内コミュニケーション基盤を統合し、UCaaS（Unified Communications as a Service）活用への取組みに注力している、と発表した。

井村屋グループは代表商品である氷菓の「あずきバー」をはじめ、菓子事業や冷食事業、点心・デリ事業など食にまつわる事業を幅広くグローバルに展開する食品企業。

2018年頃から社内外問わずコミュニケーションでできる環境作りに向け、「Zoom Meetings」の活用を開始。新たな技術が積極的に取り入れられて、アップデートにより定期的に機能が向上されることが導入の大きな決め手となった。

2019年には経営層からDX推進に向けた方針が示され、つながり改革、モノづくり改革、働き方改革という3つの軸でDXを進めていくプロジェクトが始まった。世界的なパンデミックによってテレワークを余儀なくされたことも影響してZoom Meetingsの利用が急増しコミュニケーションツールの中核として定着した。

2020年には電話交換機の更新タイミングで、年間数千万単位のコストが発生していた従来の環境から、クラウド・PBXの「Zoom Phone」に切り替えることによって、工事費や維持費を削減し、外にいてもオフィスにかかってきた電話に対応できる環境を整えることができた。また、同年、社内チャットツールも「Zoom Team Chat」へ切り替えが行われた。結果として、社内コミュニケーション基盤を統合するためのUCaaSとして、コミュニケーションプラットフォームであるZoomソリューションの活用が展開されていくことになった。

現在は、Zoomソリューションにより社内外のコミュニケーションが活性化され、ビジネス拡大に寄与しているという。グループ会社全体で800名ほどが業務で使用し、採用面接、社内研修、リモートでの工

場見学、情報共有・改善のための打ち合わせ、ウェビナーでの情報発信など、さまざまなシーンで活用しているという。

今後はさらなるコミュニケーション基盤の統合に向けて、既に発表されている「Zoom Mail」や「Zoom Calendar」もしくは今後発表される新たなサービス、ZoomのAIソリューションの活用に加えて、議事録機能や翻訳機能など別のサービスを利用している領域においてもZoomソリューションに一本化できることが期待されている。

■ BloomAct：トヨタモビリティ東京、「トヨタ」「レクサス」併設店舗にてオンライン商談システム「ROOMS」を活用したオンライン相談を開始

(PRTIMES：8月4日)

株式会社 BloomAct (<https://bloomact.co.jp/>) (茨城県つくば市) は、トヨタモビリティ東京株式会社 (<https://www.toyota-mobi-tokyo.co.jp/>) (東京都港区) の店舗にて、オンライン商談システム「ROOMS」を活用したオンライン相談窓口を開始する、と発表。

トヨタモビリティ東京は、「トヨタ」「レクサス」が同じ建物内に2店舗同居する「有明店」「レクサス有明」にて、オンライン相談システム ROOM を活用したオンライン相談窓口を開設した。



ROOMS イメージ (写真提供：BloomAct)

小さな子供がいる家庭、仕事が忙しく合間に相談したい方、遠方に住んでいる方、法人など、さまざまな

顧客ニーズに合わせてオンラインでの相談を実施し、利便性の向上を図ると同時に新規来店客の獲得に寄与するという。

ROOMS は国産のオンライン接客専用システム。アプリのインストールが一切不要でパソコン・スマホ・タブレット全ての端末からワンクリックで簡単に接続でき、カレンダー機能により好きな時間を選択して相談をすることが可能となっている。日本の接客シーンに特化した機能やおもてなし要素を豊富に搭載しているため、対面と変わらない商談体験をオンラインでも実現できる。時代に合わせた提案スタイルを実現できるソリューションとして高い評価を得ている。

■ セミナー・展示会情報

<国内>

■ 現役定着化トレーナー」が教える Microsoft Teams 活用術～ここから話せる！業務に活かせる Teams 活用技～

日時：9月6日(水) 16:00～17:15

会場：オンライン

主催：日本ビジネスシステムズ株式会社、株式会社 PHONE APPLI

詳細・申込：

<https://phoneappli.net/event/2023/20230906-event.html>

■ 今こそ Zoom Phone を選ぶ理由とは？クラウド PBX の常識を覆す Zoom Phone を徹底解説！

日時：9月13日(水) 11:00～

会場：オンライン

主催：ZVC Japan 株式会社

詳細・申込：

https://events.zoom.us/ev/Ave68X8_r5OBVUQeKG5u90IIZAu48NsSLp5A5QLF0wuGvu2lg63Q~AggLXsr32QYFjq8BIYLZ5106Dg?lmt=1692866716000

■ブイキューブセミナー情報（9月）

「ZoomとRealwearで実現する遠隔作業支援セミナー」
 「ぷらっとオフィス見学Days！工事不要・消防法対応の個室ブースを体験しよう！」
 「低コストで効き目をすぐ実感！電話から始めるオフィス業務改革」
 「専門エンジニアが徹底比較！SkyWayやAmazon ChimeなどWebRTCサービス勉強会」など

会場：オンライン／オンデマンド／東京

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■Webex Meetings 関連ウェビナー（9月）

「【利用者向け】Cisco コラボレーション デバイス (初級)」など。

会場：オンライン/オンデマンド（2020年以降録画）

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html

<海外>

■Integrate

日時：8月30日～9月1日

会場：ICC, Sydney

主催：Diversified Exhibitions Australia

詳細・申込：<https://integrate-expo.com/>

■Webexone 23

日時：10月24日～26日

会場：アナハイムマリオット（米国・カリフォルニア州）
 &バーチャル

主催：米シスコシステムズ

詳細・申込：<https://www.webexone.com/>

国内その他：<https://cnar.jp/cna/event-j.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。
 CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

■業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<https://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

■定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記URLで閲覧できます。

<https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2023年8月31日号

ホームページ：<https://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp